

横内知事との懇談会を開催

ACTIVE KUMIAI

協同組合山梨異業種交流青中倶楽部では、1月10日に中央会会議室において、情報委員会定例会(35名出席)を開催し、横内正明山梨県知事との懇談会を実施した。

横内知事は、山梨県が抱えている課題(インフラ整備、企業誘致、医者不足、災害・地震対策、中心市街地活性化、観光振興等)への取り組み姿勢について述べた。また、山梨県の持つ潜在力の顕在化を図ること、山梨県庁職員5千人の先頭に立ち、知事自らがトップセールスを行うことなどを熱く語った。

続いて、初鹿理事長がコーディネーターとなり、質疑応答が行われた。その概要は次のとおり。
インフラ整備

リニアモーターカーは、東海道新幹線のバイパスとして最短では2025年、中部横断道の増穂 清水間は10年後に開通見込み。横田基地の民間共用は米軍の反対により難航しているが、辛抱強く要望していく。

企業誘致

大手企業の山梨離れの理由として、理工系の大学が少なく、技術者不足であることなどが挙げられているが、県としては、山梨県の良さをPRするため、立地室職員を増員し、企業の要望を把握する。そして、農振の解除等可能な限り取り組みこと。また、子供の犯罪率が全国一低く、子育て環境が良いことなどの情報を発信していく。

観光・農業振興

ジュエリー・ワインなど、海外市場を意識した取り組みが増えており、農産物も含め、県がバックアップする。

最後に、山梨の若い経営者への要望として、山梨という枠にとらわれずに、東京で情報発信するなど、もっと外に目を向けて頑張っって欲しいこと、また、定期的にこのような機会の開催を望むとして、ひとりひとりと名刺交換を行った。



懇談会風景